



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3726-3411  
 URL http://sef-jpn.org

**巻頭のことば 「東日本大震災の復旧・復興」**

顧問 村瀬禎男

東日本大震災から早くも半年以上を経過し、その復旧、復興は現政権にとっても喫緊の課題である。

関東大震災、阪神・淡路大震災の後始末に付いてみると大正12年(1923年)9月1日に起きた関東大震災の際にはたまたま大腸癌で死去した加藤友三郎の後任として「海軍の父」と呼ばれた山本権兵衛が9月2日に2回目の首相就任となり、帝都復興院を設立し、内務大臣の後藤新平に総裁を兼務させ全権を委ねた。後藤は実力を発揮し現在の昭和通り等を作るなどの実績を残した。

阪神・淡路大震災では時の首相村山富市が阪神・淡路復興対策本部を設置し、自ら本部長となったが、同時に自分の災害対策への能力不足を良く知り、阪神・淡路復興委員会を作り、下河辺享委員長に提言させ、実質的に委ねた。

しかるに東日本大震災では首直人なる組織運用に素人ながら自信過剰の首相は全てを自分でリードすべく、多くの本部を作り自ら本部長になったが、まとまりのない運用で知識・能力・判断力不足を露呈し、失敗した。挙げ句の果て、辞任表明から3カ月以上も総理の座にしがみついた醜態を演じ、日本を「最大不幸社会」に向かわせようとして来た。

現政権は2代続いた思いつき内閣に反省の意を表しているが、これが本物であるかどうかを注視して行きたい。

**09月度理事会より(第102回 09月28日)**

1. SEF運用規定の改訂(慶弔規程新設) / 審議・承認	5. HP改訂費用(企画費)の件 / 報告・了承
2. 「会員意見交換会」魅力向上策 / 継続審議	6. SEF組織機能の明文化 / 審議・決定
第21回(10月26日予定)にて一部臨時行と会員提案・討議	7. 江戸環境技術支援協会発足の件 / 報告
3. NPO 保険継続加入の件 / 審議・承認	8. 平成23年8月度会計収支報告 / 報告・承認
4. 平成24年カレンダーの発注と配布の件 / 審議・決定	9. その他報告事項

**事業報告 「派遣事業」と「請負事業」に関する見解**

産業業務支援事業部副担当 佐立理事

先般来、産業業務支援事業部会で話題となりました「派遣事業」と「請負事業」についての見解です。

昭和61年4月の労働省告示37号に「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」があります。これによると下記は「労働者派遣事業」を行う事業主とはなりません。

1) 業務遂行の指示・管理、業務時間の指示・管理、勤務規律など企業の秩序の維持、確保などの管理を自ら判断し、業務を行うものであること。

2) 業務処理に要する資金は自らの責任の下に調達・支弁し、法律に規定された事業主としての責任を負うこと。単に肉体的な労働力を提供するものでなく、相手方から独立して業務処理するものであること。

以上より、現状の産業業務支援事業で実施している販売支援、技術支援等の業務は「派遣事業」には該当せず「請負事業」に該当すると判断されます。(尚、本見解はSEFの公式見解となっております)

**SEFサロン 第66回報告 / 第67回案内**

担当役員 白崎理事

《第66回報告》 講師：齋藤 勝氏 演題：「動物園を考える」 (09月28日実施)

元恩賜上野動物園園長で現在(社)日本動物福祉協会の副理事長である齋藤 勝氏から、動物園の役割の中でも重要な「野生動物を絶滅から救う」を中心にお話がありました。日本の朱鷺は2003年に我が国土着の個体は絶滅してしまい、齋藤氏も直接関与された中国から個体導入による繁殖計画がよく知られています。今では世界の動物園がこうした絶滅危惧課題に取り組んでいますが、現在では動物園のみに生息・繁殖している個体もあります。貴重なスライドを数多く使用された、興味深い講演でありました。

《第67回案内》 日時：2011年11月24日(木)18時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」

講師：山本 鎮男氏(早稲田大学理工学研究所 客員研究員、元京都工芸繊維大学教授・千代田化工建設(株))

演題：「東日本大震災の教訓(原発事故-安全神話の崩壊)と中央日本大地震への備え」

**09月度会員動向**

会員入退会ナシ	09月末現在の会員数	正会員 29名	準会員 33名
		賛助会員 2社	